

# 自立生活支援のための共に行う家事支援 の取扱いについて

平成30年8月  
障がい福祉室

# 支給決定における考え方

## 基本的な考え方

利用者の自立生活支援、日常生活能力や意欲の向上のために、利用者が家事を主体的に取り組む際の共に行う支援について、身体介護決定に位置付け、障がいの種別を問わず、個別のケースに応じて適切に判断し支給決定していきます。

## サービス等利用計画等への位置づけ

支援の必要性を多角的に判断することと適切なモニタリングを行うために、利用者のニーズとそれに対する支援の目標をサービス等利用計画に位置づけることを原則とします。(例外的に計画相談支援を利用しない場合は、利用者が支給決定担当者とサービス利用の目標及び方法を確認し、セルフプランに位置づけます。)

### 【ニーズ】

- ・買い物や調理を自分でしたい(手助けしてほしい。)
- ・洗濯を一人でできるようになりたい(意欲を持ちたい。)
- ・掃除を一人でできるようになりたい(技術を身につけたい。)

### ⇒【支援目標】

- ⇒(自立生活支援)
- ⇒(意欲の向上)
- ⇒(日常生活能力の向上)

# 支援を行う上でのポイント

- ①どのような支援目標を持って行うのかを、サービス等利用計画に位置づける。
- ②どのような方法で行うのかを、個別支援計画に位置づける。
- ③一定期間ごとの支援の効果を、モニタリング時に検証する。

## ①支援目標

- ・利用者が実現したい自立・暮らし
- ・日常生活能力や意欲の向上、維持  
(日常生活能力を身につける、意欲を喚起する、能力を維持する。)

②方法…分業ではなく共同作業。利用者が主体的に取り組み、ヘルパーはその支援を行います。

- ・共同実践  
(手助けしながら行う。)
- ・動作の援助  
(体幹を支える等。)
- ・見守りの援助  
(安全を確保しながら常時介助できる状態での見守り等。)

## ③効果の検証

- ・モニタリング時にサービス提供状況、利用者の感想・満足度を踏まえ、目標を達成できているか効果を検証する。

# 支援事例①

療育手帳B1、精神保健福祉手帳2級所持。今までに家事の経験が少ないが、自分でできることを増やしたいと思っているケース。

サービス等利用計画案・障害児支援利用計画案

利用者氏名(児童氏名)	事例①	障害支援区分	相談支援事業者名				
優先順位	解決すべき課題 (本人のニーズ)	支援目標	達成時期	福祉サービス等 種類・内容・量(頻度・時間)	課題解決のための 本人の役割	評価 時期	その他留意事項
1	自分の部屋の整理整頓を手助けして欲しい。	ヘルパーと一緒に整理整頓をする。	1年	居宅介護(身体介護)5時間/月(1時間×1回/w) (自立生活支援のための共に行う家事支援)	ヘルパーさんと一緒に整理整頓をする。 教わった整理方法をできる範囲で実践する。	6ヶ月	

モニタリング報告書(継続サービス利用支援・継続障害児支援利用援助)

優先順位	支援目標	達成時期	サービス提供状況 (事業者からの聞き取り)	本人の感想・ 満足度	支援目標の達成度 (ニーズの充足度)	今後の課題・ 解決方法	計画変更の必要性			その他留意事項
							サービス 種類の変更	サービス 量の変更	週間計画の 変更	
1	ヘルパーと一緒に整理整頓をする。	1年	ヘルパーの訪問日は一緒に整理を行えているが、訪問日以外に一人では行えていない。	ヘルパーさんが手助けしてくれるので助かっているが、ヘルパーさんの来ない日はやる気がでない時が多い。	整理整頓を共に行なうことで自立を促すことができている。 一方一人で行うまでには至っていない。	一人で行う整理箇所を限定し、無理なくできる範囲とすることで、段階的な習得を目指す。	有(無)	有(無)	有(無)	

## 支援事例②

身体障がい者手帳2級(右上下肢機能障害)所持。右半身に麻痺があるが、洗濯について自分で行えることは自分でしたいと考えているケース。

サービス等利用計画案・障害児支援利用計画案

利用者氏名(児童氏名)	事例②	障害支援区分		相談支援事業者名			
優先順位	解決すべき課題(本人のニーズ)	支援目標	達成時期	福祉サービス等 種類・内容・量(頻度・時間)	課題解決のための 本人の役割	評価時期	その他留意事項
1	できるだけ自分で家事を行いたい。	本人が安全に洗濯物を干す、たたむことができる。	1年	居宅介護(身体介護)5時間/月(0.5時間×2回/w) (自立生活支援のための共に行う家事支援)	ヘルパーの援助を受け、洗濯物を干す、たたむ。	6ヶ月	
2		本人に洗濯物を確認し、洗濯を行う。 たたんだ衣類等を片付ける。	1年	居宅介護(家事援助)5時間/月(0.5時間×2回/w)	洗濯する衣類等をヘルパーに伝える。 衣類を片付ける場所を指示する。	6ヶ月	

モニタリング報告書(継続サービス利用支援・継続障害児支援利用援助)

優先順位	支援目標	達成時期	サービス提供状況 (事業者からの聞き取り)	本人の感想・満足度	支援目標の達成度 (ニーズの充足度)	今後の課題・解決方法	計画変更の必要性			その他留意事項
							サービス種類の変更	サービス量の変更	週間計画の変更	
1	本人が安全に洗濯物を干す、たたむことができる。	1年	干す前のしわ伸ばし、乾きにくいズボンを裏返す等、ご本人が行う際に、見守りできない事サポートすることで洗濯物を干すことができます。 たたむ際は洗濯物の一部をヘルパーが抑えることで、ご本人がたたまれています。	ヘルパーが手助けしてくれることで、一人ではできない洗濯物を干したり、たたんだりすることが出来ています。	自己実現に対する支援が行えており、支援目標は達成できている。	洗濯機の操作や衣類の片づけについてご本人が行える方法を検討する。	有(無)	有(無)	有(無)	
2	本人に洗濯物を確認し、一緒に洗濯を行う。 たたんだ衣類等を片付ける。		洗濯する物は事前に洗濯かごに入れておられるため他に洗濯する物がないのかを確認しています。 片づける場所もご本人と共有できており、スムーズな支援が行えています。	ヘルパーさんができない部分をしてくれるので助かっています。片づける場所も毎回確認してくれるので、分からなくなることもありません。	目標は達成できています。		有(無)	有(無)	有(無)	

## 支援事例③

身体障がい者手帳3級(軽度の四肢麻痺)所持。歩行やしゃがんだりする時に見守りや支援が必要だが、家族の役割として買い物は自分でしたいと考えているケース。

サービス等利用計画案・障害児支援利用計画案

利用者氏名(児童氏名)	事例③			障害支援区分		相談支援事業者名	
優先順位	解決すべき課題 (本人のニーズ)	支援目標	達成時期	福祉サービス等 種類・内容・量(頻度・時間)	課題解決のための 本人の役割	評価時期	その他留意事項
1	家族の留守の間に自分ができる家事は行いたい。	調理に必要な食材を本人自らが安全に選ぶことができる。	1年	居宅介護(身体介護)10時間/月(1時間×2回/w) (自立生活支援のための共に行う家事支援)	献立に必要な食材等の確認。購入先の選定。食材の確認時に必要な支援に関するヘルパーへの指示。	6ヶ月	調理は家族が行う。

モニタリング報告書(継続サービス利用支援・継続障害児支援利用援助)

優先順位	支援目標	達成時期	サービス提供状況 (事業者からの聞き取り)	本人の感想・満足度	支援目標の達成度 (ニーズの充足度)	今後の課題・解決方法	計画変更の必要性			その他留意事項
							サービス種類の変更	サービス量の変更	週間計画の変更	
1	調理に必要な食材を本人自らが安全に選ぶことができる。	1年	当日の献立に合わせ、必要な食材選びを支援しています。	ヘルパーが手助けしてくれることで、献立に必要な買い物ができます。自分で見ることができるので、旬の食材を食卓に並べられて、家族からも喜ばれています。	家庭における役割の維持、自己実現に対する支援が行えており、支援目標は達成できている。	調理についてはご家族がしているため、ご本人が行う部分についての検討をする。	有(無)	有(無)	有(無)	

上記はあくまで例示となります。利用者に沿った取扱いを行っておりますので、ご不明な点がございましたら、地区担当ケースワーカーにお問い合わせください。